

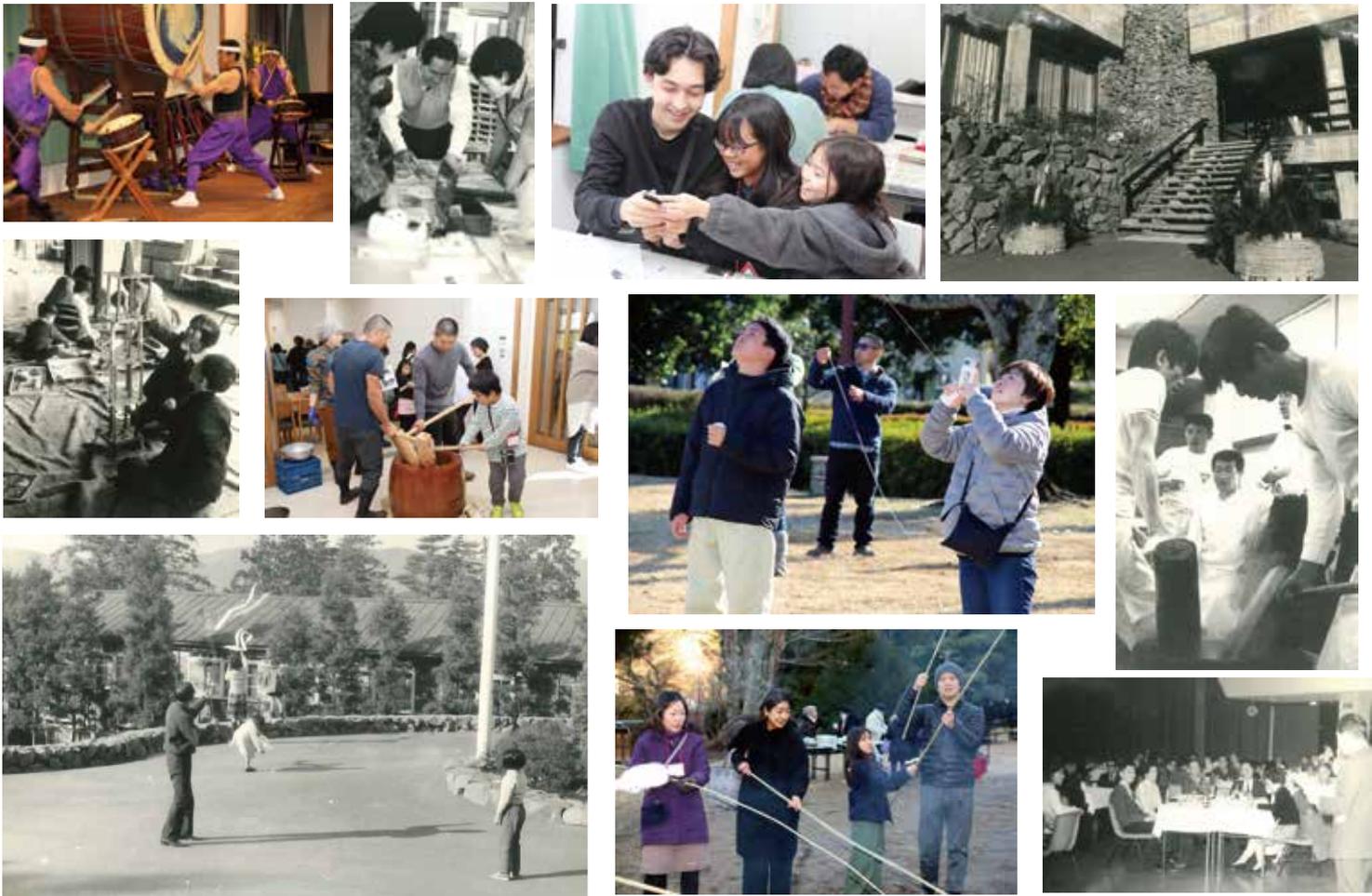


2025年10月1日発行
発行人：森田義彦
編集人：阪田祥章
公益財団法人 日本YMCA同盟
国際青少年センター 東山荘
〒412-0024
静岡県御殿場市東山1052
Tel 0550-83-1133
Fax 0550-83-1138
www.ymcajapan.org/tozanso
(題字は故北村徳太郎氏)

東山花大より

[YMCA東山荘は創立110年]

祝！第60回「年末年始家族パーティー」



▲前回の第59回(2024-2025)と第3回(1968-1969)の様子。

ご案内を開始しました ～「おかえり」「ただいま」 お正月といえば東山荘～

60年前と比べると、人も変われば、東山荘の建物や自然も変わりました。しかし、60年前も今も変わらないのは、一人ひとりを温かく迎えてくれる“東山荘ファミリー”です。期間中はプログラムに参加するもよし、のんびりと過ごすのもよし。とにかく気持ちよく2026年を迎えましょう。今回は60回を記念するプログラムや懐かしの復刻メニューもあるとか。皆さまの“おかえり”をお待ちしております(初参加の方も大歓迎です)。

【第60回「年末年始家族パーティー」参加要項】 ～どなたでもご参加いただけます～

- 期間：2025年12月30日(火)～2026年1月3日(土)
- 定員：150名程度
- 参加費その他：専用パンフレットをご覧ください。
- お申込み方法：専用の申込書に必要事項をご記入の上、東山荘までお送りください(FAXやメール等)。
*お電話ではお受けしておりません。
*定員を超えた場合は、全期間ご参加の方が優先になります。
- お申込期限：2025年11月10日(月)
*これ以降も空いているお部屋でご案内可能です。お問い合わせください。
*満室になりましたら締め切らせていただきます。

110周年特集

東山荘と私

「東山荘会議」

(1984年)

今年にはYMCA東山荘創立110年であると同時に、日本の敗戦後80年でもあります。『東山荘だより』春号、夏号と110周年特集を組んできましたが、今号では「世界の中の東山荘」に着目し、特に1984年、朝鮮半島の和解・平和・統一を求める歴史的会議「東山荘会議」を取り上げます。このような会議が開催できるのは世界の中でイスカ東山荘だけだと言われます。世にあまり知られることのない東山荘の歴史と働きを、当時をよく知るお二人の関係者の方のご寄稿を通してご紹介します。

「東山荘プロセス」の過去・現在・未来

日本YMCA同盟会長 山本俊正

1980年代後半、アジアにおいては、東西冷戦期の対立状況を想起させる出来事が各地で起きていました。南アジアでは、アフガニスタンの内戦が続き、インドとパキスタンでは軍事衝突が繰り返されました。また、ビルマでは1988年に、国軍によるクーデターが起



▲齊藤記念館前で撮られた写真(詳細不明)

こり、軍の独裁が開始されます。1989年6月に起きた天安門広場での事件は、開放政策、近代化路線をとりつつも、強権の発動により、いまだ中国が冷戦時代の臨戦体制にあることを世界に示しました。また、同年3月に、韓国の文益煥牧師が朝鮮民主主義人民共和国(以下DPRKと表記)に渡航し、4月に東京経由で帰国後、韓国公安当局によって連行、逮捕されました。韓国とDPRKは38度線で分断されており、依然として冷戦状態にあることを再認識させました。このような東アジアの危機的な状況と韓国教会

の要請に従い、1984年10月、日本の東山荘で「東北アジアの正義と平和」会議(東山荘会議)が開催されました。主催したのは、世界教会協議会(WCC)でアジアキリスト教協議会(CCA)及び韓国教会協議会(NCCK)が協力し、場所の選定は日本キリスト教協議会(NCCJ)の提案によるものでした。この歴史的会議は、その後の朝鮮半島の平和と和解、統一問題に対するエキュメニカル運動の指針を示すものとなりました。WCC、CCA、各国のNCC、教会の朝鮮半島への取り組みは、現在でも「東山荘プロセス」と総称され、世界の教会の共通語として市民権を得ています。

以下は、日本、韓国、WCCを中心に取組まれた「東山荘プロセス」の歴史を概観したものです。

「東山荘会議」の翌年、1985年にWCC代表団が、86年には米国NCC代表団がDPRKを訪問しました。また、86年にはスイスのグリオンで、WCC主催の会議が開催され、南北のキリスト者代表が参加し、聖餐を共にしています。87年5月、日本のNCCは、隅谷三喜男、中嶋正昭、前島宗甫の3名をDPRKに派遣し、朝鮮基督教徒連盟(KCF)を訪問し、交流の可能性について意見交換

をしています。訪問で合意されたのは、KCF代表を日本に招き、韓国NCCと3者でシンポジウムを開催することでした。88年に予定されたシンポジウムは、87年に起きた大韓航空機爆破事件の影響でDPRK政府よりKCF代表の渡航許可が降りず、韓国NCC、日本のNCC、在日大韓基督教会の3者

で、「朝鮮半島の平和・統一と日本」を主題に開催されました。日本のNCCはKCFを招聘する可能性をあきらめず、89年6月に朝鮮基督教徒連盟代表団歓迎実行委員会を組織し、さらに計画を進めました。日本政府の姿勢の変化も手伝い、同年9月28日にKCF李哲代表、他三名が来日し、10月5日まで滞在したことが記録されています。滞在中、日本基督教団信濃町教会にて合同礼拝が行われ、韓国NCCからは12名の代表が参加しました。

また、在日大韓基督教会からは、89年7月に代表団6名がDPRKを訪問し、交流を開始しています。95年に起きたDPRKにおける大規模な洪水被害を契機に、日本のNCC及び在日大韓教会を含めたアジア及び世界のエキュメニカル運動は、DPRKへの人道支援活動を開始し、2000年代前半まで、国境を超えた「東山荘プロセス」の新しい取り組みが継続されました。

韓国では、韓国教会協議会(NCCK)が85年2月に「韓国教会の平和と統一に関する声明」を発表し、本格的な平和統一運動が開始されます。88年に、NCCKは「民族の統一と平和に関する韓国教会宣言」(88宣言)を発表し、民族の分断と互いの憎しみの罪を告白し、朝鮮半島の平和と和解のための教会と社会の基本原則を言います。朝鮮解放50周年を迎えた95年には「平和と統一のヨベルの年」が宣言され、WCC及びCCAに呼びかけ、同年春、仁川で「世界キリスト教・韓半島平和会議」が開催されました。世界各国から300名以上が参加し、朝鮮半島における平和と統一がエキュメニカル運動の共通の課題であることが確認されています。NCCKは2006年より、KCF、WCCと共に「朝鮮半島の平和と統一、発展のためのエキュメニカル・フォーラム」を立ち上げ、アジア、ヨーロッパ、北米からの参加を得て、朝鮮半島の平和統一、発展、交流、協力、東アジアの和解のための国際的な連帯と分かち合いのチャンネルを設立しています。WCCとの関連では、2013年に開催された第10回WCC釜山総会において、世界各国からの参加者がベリンから釜山まで平和列車に乗り、朝鮮半島の平和と統一の

重要性を国際社会に喚起しました。また、「朝鮮半島の平和と統一に関する声明」（2013年）が採択され、朝鮮戦争の終結、平和条約の必要性、核のない朝鮮半島のために世界が共に祈ることを約束しています。2022年にドイツ、カールスルーエで開催された第11回WCC総会においても、「朝鮮半島の戦争終結と平和構築に関する議事録」が採択されました。休戦70周年にあたる2023年には、WCC中央委員会が朝鮮半島の和解と平和を求める声明を採択しています。アジアキリスト教協議会（CCA）も朝鮮半島の平和を求める声明を継続的に採択しており、2023年のCCA第15回総会では「休戦70年・朝鮮半島の和解と平和のための声明」を発表し、朝鮮半島の戦争終結と平和のために連帯して祈り、協力することを決議しています。

現在、世界中で敵対関係と武力衝突の可能性が高まっています。朝鮮半島の平和も脅威に直面しています。2019年の米朝ハノイ会談の決裂後、南北間の交流・通信は遮断され、北は2023年に「9・19南北軍事合意」の破棄を宣言しています。また南も2024年に「9・19軍事合意」の中断を決定しました。2022年には米・韓による前例のない大規模

な軍事演習が行われました。北は2023年12月、自国と南を「2つの敵対国家、2つの戦争国家」と定義し、攻撃的な超強硬路線による力対力の政策を実施すると発表しました。2024年、DPRKはロシアと「包括的戦略パートナー」としての条約を結び、武力侵攻によりどちらかが戦争に突入した場合、遅滞なく介入することが宣言さ

れています。

この間、教会及び市民レベルの南北交流だけでなく、NCCKとKCFが共同で実施してきた「イースターの共同の祈り」と「8月15日の共同の祈り」も、2019年8月以降は実施されていません。

2024年9月にNCCKは創立100周年を記念して国際平和会議を開催しました。会議

では、世界のエキシメニカル運動に対して、朝鮮半島の平和と和解の必要性が再度呼び掛けられています。また会議の中心的な議論は、朝鮮半島と東アジアにおける平和統一運動の歩みを振り返る「東山荘プロセス」40年の再評価と、朝鮮半島と東アジアの平和のために世界の教会が果たすべき役割とビジョンが探求されたことでした。

韓国では3年ぶりに革新政権が誕生し、「東山荘プロセス」と名付けられたエキシメニカル運動が現在も継続されていること、朝鮮半島の平和と和解が遠くない未来に実現することを共に祈りたいと思います。



「東山荘会議」45周年に向けて—— 対話が困難な時ほど一層の関りを！

元日本キリスト教協議会総幹事 飯島信

1987年の蘆泰愚（ノテウ）民政党代表による「民主化宣言」が発表されるより3年前の1984年、日本の東山荘において、WCC（世界教会協議会）主催のもと、朝鮮半島の和解と平和、統一を求める「東山荘会議」が開催されました。なぜこの会議が日本で開催されたのか、それは、1973年から始まる韓国民主化闘争支援運動に、NCC（日本キリスト教協議会）を拠点とした日本のキリスト者や教会が深く関わったからにはかならないように思います。

WCCが朝鮮半島の問題にコ

ミットするようになったのは、この会議に先立つこと12年前の1975年、ケニアの首都ナイロビで行われた第5回WCC総会の時でした。当時の朴正熙軍事独裁政権は、総会に参加する4名の韓国教会代表の出国を認めませんでした。彼らが、民主化闘争の担い手であったからです。総会最終日、Philip A. Pol-

ter、総幹事は、第5回WCC総会の名のもとに、参加すべきであった4名の韓国代議員の名を読み上げて韓国政府に遺憾の意を表します。それ以降、WCCは、先の「東山荘会議」に続き、1986年には南北のキリスト者が初めて聖餐を共にしたグリオン会議を主催したのを初め、分断された朝鮮半島の平和と統一のための歩みに寄与し続けます。

2009年10月、香港において「東山荘会議25周年」を記念して、「朝鮮半島の和解と平和」と統一に関する国際協議会—東山荘プロセス後のエキシメニカル・ビジョンに向けて」と題する会議が開かれました。WCC他、世界各地から137名の教会指導者が集まったこの会議には、南のNCCK（韓国基督教協議会）と共に、北のKCF（朝鮮キリスト教連盟）代表

の参加もあり、文字通りエキシメニカルな会議としての意味を持つものでした。

その一方、NCC総幹事として参加した私にとっては、南北に分断された現実とは何かを知らされる時ともなりました。KCFの代表に同行した北朝鮮政府の機関員による監視の厳しさは想像を超えるものでした。KCF代表は、会議で発言するたびごとに機関員の待機場所に呼ばれ、発言内容を確認されました。

2029年「東山荘会議」は45周年を迎えます。36年にわたる植民地として支配し続け、分断に歴史的責任を持つ私たち日本のキリスト者は、朝鮮半島の和解と平和、統一のために、南北間の対話がより困難になればなるほど、これまでより一層の関わりを実行に移す時が来ているように思います。



▲東山荘会議20周年記念会議の様子(2004年10月)



今後の主催プログラムの予定



秋のことも自然キャンプ

・日時：10月12日(日)～13日(月)
・料金：18,000円

・対象：小中高生

今回のキャンプでは久しぶりに夜の富士山でビバークをします。雲がなければ満天の星空と神々しいご来光(日の出)を仰ぐことができます。それ以外にも「さるボードGSSファイナル」など楽しいプログラムを用意しています。

第11回YMCA東山荘

チャリティゴルフ

・日時：10月31日(金)9:07スタート
・場所：レンブラントゴルフ倶楽部

・料金：14,000円

▶(フリール、食事、バーティ、チャリティ費含む)

・募集人数：60名

チャリティゴルフには毎年大勢の方にご参加いただきありがとうございます。昨年はお預かりしたチャリティ費で、御殿場市内の「ふじ山教室」(他国にルーツの有る子どもたちが通う学習支援教室)の子どもたち29人を東山荘に招待し、2回目となる日帰りキャンプを開催することができました。また参加したい!との声も沢山いただきました。今回のチャリティゴルフにも

多くの方のご参加・ご支援をお願い申し上げます。

秋のこともチャリンコキャンプ

・日時：11月22日(土)～24日(月)
・料金：30,000円

・対象：小中高生

秋空のもと気持ち良い風にかれながら自転車の旅に出かけましょう。今回は3日間かけて富士山麓を一周します。(変速機付き自転車を用意。こなせ、一日30km以上走行できる小学生以上のお子さんが対象です)。

紅葉のランチビュッフェ

・日時：11月30日(日)

第一部11時30分、第二部12時50分

・料金：大人1,650円

小学生1,100円

幼児770円

・11月16日(日)より予約開始

・定員：予約各30名、当日各20名

毎回大好評をいただいています。ランチビュッフェを今年も開催いたします。大人気のカレーやハヤシライスもお楽しみいただけます。美しい紅葉を見ながら、おいしいランチをお楽しみください。皆様のお越しをお待ちしております。
*ご予約なしでもご利用いただけますが定員になり次第終了させていただきます。



YMCA東山荘所長
森田 義彦

数年前のある航空会社の記事からです。

「ハチ公は理屈じゃない」

渋谷駅前にはハチ公の銅像を知らない方はいないでしょう。10年もの間、雨の日も、雪の日も帰らぬ主人を待ち続けたハチ公。何故ハチ公は帰らぬ主人を待ち続けたのか。主人が帰ってくるかもしれない、待っていたいから、もしものために、好きだからとにかく行こう。人と思うというのは理屈じゃない。私たちは人と思う航空会社でありたいと願っています。ハチ公が当たり前のこととして主人を待ち続けた。ひたむきな姿勢をサービスの土台にしたいと考えました。」

私たちYMCA東山荘のスタッフの思いもこの会社に通じるものがあります。ご利用いただく方たちを思い、キリスト教が一人ひとりにそっと寄り添っているように、そんな施設でありたいと思います。110年、活動を継続できたのは、ご利用いただく方たちを思い続けてきたからです。
主を想い、東山荘という場所を大切に後世に引き継いでいく、そんな活動を続けていきます。110年目の今年、その思いを再認識する時と思っています。何気ない日常の中に主が共にいてくださり、ご利用者にお出でいただけることに感謝します。

季節の一品

Seasonal Recipes



じゃが芋のボンファミ風

キノコ類は好みでなんでも可能です。
赤ワインのヌーヴォーとバケットと一緒に!!



食堂店長・料理長
長田 尚弥

材料 (6人前)

- じゃが芋 500g
- ベーコン 100g
- 玉葱 300g
- マッシュルーム 100g
- 椎茸 100g
- にんにく 1片
- オリーブ油 適量
- 塩 "
- 黒こしょう "
- パセリ微塵切り "
- バター 60g

1. じゃが芋は皮付きのまま良く洗い、大きめの乱切りにして、堅めに茹でる。ベーコンは5mm、玉葱は1.5cm幅、マッシュルームは3等分に切っておく。
2. フライパンにオイルを入れ、じゃが芋を並べて焼き、焼きが付いたら取り出す。
3. フライパンにオイルを入れ、ベーコン、にんにくを炒め、香りが出たら玉葱、きのこ類を加えて更に炒め、皿に取り出す。
4. 3のフライパンにバターを溶かし、2と3を入れて炒め、塩、黒こしょうで味を整えて器に盛り付けたらパセリを振る。

【編集後記 (阪田)】

○今回は110周年特集の一環として「東山荘会議」を取り上げました。ご寄稿いただいた山本俊正さま、飯島信さまに心より御礼を申し上げます。東山荘で灯った平和の火を絶やすことがないよう今後も取り組みを続けたいと思います。また、この会議について具体的な内容(会場や参加者数、プログラムスケジュール等)をご存知の方や写真がございましたら東山荘まで一報ください。紙面に掲載した写真は以下のサイトから借用したものです。

【2頁】 <https://www.hani.co.kr/arti/society/schooling/584017.html#ace040u>

【3頁】 <https://www.christiantoday.co.kr/news/142152>

○「年末年始家族パーティー」はお蔭様で60周年です。東山荘も朝晩はめっきり涼しくなり、少しずつ年末年始モードに入っております。皆さまのお越しをお待ちしています。

お問い合わせ・お申込み

資料の請求はこちらまで

YMCA東山荘

〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052

TEL 0550-83-1133 FAX 0550-83-1138

E-mail: tozanso@japanymca.org

ホームページ www.ymcajapan.org/tozanso